

2008年度

全道モトクロス選手権シリーズ 特別規則

2008.3.25



MFJ北海道支部

公 示

本特別規則は、MFJ国内競技規則にもとづきMFJ北海道支部が定める全道モトクロス選手権シリーズの特別規則である。

【1】大会主催者および開催日程

詳細は、別途レースカレンダーにて示される。

2008年度のボーナスポイント大会は、9月28日の第9戦「札幌大会」とする。

【2】大会運営・実行組織

詳細は、公式通知または公式プログラムに示される。

【3】公式通知（タイムスケジュールを含む）

本規則に記載されていない競技運営に関する実施細則および参加者への指示事項並びにタイムスケジュールは公式通知にて発表する。

【4】競技種目

チャイルド：50cc 1参照

2008年 新種目 65 CC 4 参照

ジュニア：85cc

国内B級：85cc、NB2(125cc)、オープン

国内A級：NA2(125cc)、オープン

国際B級：IB2(125cc)、オープン

国内B級以上：オープン 85（全道MX第1戦のみ「中学生以上のジュニア」をエントリー対象にいい、第2戦以降の実施するか否かはその後発表する。）

1. チャイルド種目の詳細

- 参加資格：中学生未満でPCライセンスもしくはジュニアライセンス所持者。且つ他種目の競技にエントリーしていない事。

全日本選手権等の全国大会は、小学校3年生までになります。

- 開催クラス：50A 出場車両(XR50・QR50・PW50・CRF50)
50B 出場車両(LEM-LX1・LEM-LX2・LEM-LX2RACER)
(KTM50SXPRO・KTM50JUNIORLC・SENIORLC)

記載外の車両については事務局もしくは主催者に問合せのこと。

- 賞典はそれぞれに適用。但し混走レースとする。
- レース内容：10分+1周(スターティングマシンを使用せず、安全を確保したスタート幅で実施。)
- ゼッケン：車体 = 白地に赤文字

2. 各出場車両について：MFJ公認車両で且つ下記の条件に基づく。

クラス	出場車両 2 s t	出場車両 4 s t
85クラス	51~85cc	85~150cc
2クラス(125cc)	100~125cc	175~250cc
1クラス(250cc)	175~250cc	290~450cc
オープン	1クラス・2クラスのいずれか	
(新設) 65クラス	51~65CC	

3. レディースクラス

参加者数が見込めないことから2008年度はレディースクラスとして単独のレースは行わず、NB85の中で行う。但し、ポイント管理はTOTALで行うが、大会毎の表彰については別途事務局にて考慮する。

4. 2008年度(新種目)「65CCクラス」(「チャイルド・ジュニア65」の名称は使用しない。)

4-1 ライセンス 「PCライセンス及びジュニアライセンス」取得者

4-2 セッケンプレート 「緑色地に白色文字」とする

4-3 2008年度セッケンナンバー設定 「全道モトクロス大会 第1戦 札幌大会」(5月18日)の受付順とする。第1戦 札幌大会の受付開始は4月18日とする。

4-4 エントリー等 (8) 参照

4-5 65CCクラス 競技は新種目のため、2008年度は「3台以上のエントリーを下限」して運営していく。

4-6 昇格ポイントはつかないが、年間ランキングは発表する。

[5] 参加定員

参加申込に対する定員は、定めない。

[6] 参加資格

ライダー

1) 2008年度有効な当該MFJモトクロス競技ライセンス所持者とする。

2) 満20歳未満の者は親権者の印鑑証明を必要とする。(2008年度「未成年者の競技参加承諾書」提出者は除く)

3) ジュニアライセンス所持者は大会当日親権者または親権者が委任する所属クラブの代表者が同伴しなければ出場を認めない。

ピットクルー(メカニック)

1) 2008年度有効なMFJピットクルーライセンス所持者であり、かつエントリー申請書の記載者とする。

2) 大会当日は、必ずピットクルーライセンスを確認できる場所に装着すること。大会役員の求めがあった場合はすみやかに提示すること。

3) ピットクルーの違反行為(無資格者も含む)は、当該ライダーのペナルティーとする。

[7] 参加申込

大会開催日の1ヶ月前から7日前まで(消印有効)とする(厳守)

2008年度より全道大会各会場にて「トランスポンダ」導入予定であり、運営をスムーズにするためにも「7日前厳守」とする。

但し、7月5日 6日 全日本及び 8月24日「特別競技会併催」第7戦は、1ヶ月前に締切る。

[8] エントリー料(MFJ共済掛金含む)

	クラス	出場料	傷害基金	エントリー料金	種目追加
1	チャイルド	3,500	500	4,000	-
2	65CC	4,500	500	5,000	3,000
3	85cc・オープン	7,500	500	8,000	3,000
4	2・オープン	8,000	2,000	10,000	3,000

2007年より出場料を改訂した。

85ccクラスと2以上のクラスに複数エントリーする場合、傷害基金は2,000円を適用する。

2008年度より「トランスポンダ」導入会場については、1台につき750円徴収する。

[9] エントリー方法

所定の参加申込書に必要事項を全て記入の上、エントリー料金を添えて現金書留で申し込む事。

申し込み先は、レースカレンダーに示す。

電話または締切日以降の申込、エントリー料不足の申込みは一切認めない。

[10] 参加受理または拒否

必要事項のすべてが明記された出場申込書及び所定の金額が大会事務局に受理された時点で参加が受理されたものとする。

一旦受理された出場料および共済掛け金は、大会中止以外一切返還しない。

大会中止の場合、参加者が支払った出場料および共済掛け金は全額返還されるが、他の損害賠償を主催者に請求することができない。

主催者は参加者に対してその理由を明らかにする事なく申し込みを拒否、または無効とする権限を有する。

【11】ゼッケン ナンバー

全道モトクロス選手権シリーズ戦については年間指定ゼッケンとする。

年間指定ゼッケンは2008年度全道モトクロス選手権シリーズ指定ゼッケン表による。

指定ゼッケンを持つものは、大会エントリー時にゼッケンナンバーをエントリー用紙に記入の上、申し込むこと。

指定ゼッケンを持たない参加者は各主催者にて空き番号を割り振る。

オープン85については、各クラス指定の全道ゼッケンを基本とする。但し、クラスをまたがって参加者の番号が重複した場合は、主催者もしくは事務局が修正(応急措置)を指示するので、ライダーはそれに従うこと。

ライダーは雨天の場合に備え補助ゼッケンプレートを用意しなければならない。競技監督がこれの取り付けを指示した場合速やかにヘルメットに取り付けなければならない。

2008年 新種目(65CCクラス)については、4参照

次年度の指定ゼッケンは次の通りとする。全道モトクロス選手権シリーズのポイント獲得者は昇格者を除きポイント順 同点の場合は上位入賞回数順 さらに同点の場合は08年指定ゼッケン 順で割振る。ポイントの無い場合は07年指定ゼッケン 順で割振る。NB・NAクラスからNA・IBクラスへの昇格者はポイント順に01~09(91~99)のルーキーゼッケンを割振る。NBクラスのルーキーゼッケンは、原則ジュニアクラスからの申請昇格者に割振る。

IBクラスのみ、IA昇格者を欠番とする。

前述【4】により、前年度レディスゼッケン保持者は、NB85にて採番した。

【12】希望ゼッケン

2008年度より希望ゼッケンを認める。

但し、2桁(99)を限度として空きのある番号に限る。

希望者は、ゼッケンの年間使用代として10,000円を支払う。

【13】出場受付

出場受付は、定められた時間内に必ずライダー本人が出向きMFJライセンス・参加受理書を提示し出場資格の参加確認を受けなければならない。

健康保険証は、提示しなくても良いが、万一負傷した場合に備え、必ず持参すること。

MFJライセンスを提示できない場合は、原則として出場を認めない。

【14】公式練習

ライダーは、タイムスケジュールに定められた公式練習に参加しなければならない。

公式練習に参加できないライダーは、レース出場を認めない。

【15】公式予選

各クラス、30台を超えた種目について予選を行なう。(チャイルドクロスを除く)

公式予選の有無、周回数、決勝進出台数その他の詳細は、公式通知により示される。

公式予選の組分けは、公式練習終了以前に発表される。

【16】スタート

スタートの方法

エンジンランニングスタートとし、ヘルメットタッチは行わない。

スタートの手順

- 1) プレパレーションエリア(クジ順の待機場所)に待機
- 2) グリーンフラッグにてエンジンスタートし、スタートラインに整列(整列する迄グリーンフラッグを提示する。)
- 3) グリーンフラッグが下げられた後、5秒から10秒以内にスタートフラッグ(日章旗)の合図でスタート
- 4) スタートエリアに入場できるのは、当該ライダー(スタート時のみ)オフィシャルのみとする。

➤ チャイルドクロス・J85クラスはピットクルーも可能

スタート台数

30台以内とする。(特別な場合は、公式通知に示される)

予選レース・決勝レース

- 1) 予選レースは、各種目とも3周とする。
- 2) 決勝レースは、J85・NBクラス 10分+1周
NAクラス 15分+1周
IBクラス 20分+1周
オープン85 10分+1周
(チャイルドクロスは【4】を参照の事。)

新種目 65クラス 10分+1周

これらの内容は、各大会毎に公式通知により示される。

決勝レースのスタート位置、決定方法

スタート位置の順位は、予選順位に基づき主催者が定める。

ウォーミングアップ

エンジンのウォーミングアップは主催者の指示する時間・場所に限られる。

【17】ピット及びサインエリア

ピット及びサインエリアは、主催者により指示される。特に指定の無い場合のピットエリアはスタートラインからゴールラインまでの周回走行に差し支えの無いコースサイドである。

ピット及びサインエリアに入場できるのは、ピットクルーライセンス所持者でかつ申込記載者のみに限られる。レース中(グリーンフラッグ提示後)ピット区域以外のパドックへ戻った場合失格となる。

【18】音量測定

役員の判断により、音量測定を行う場合があるので、その際は速やかにその指示に従うこと。他のライダー及びピットクルーから正式抗議があった場合も同様に測定を行う。

2サイクル車は96dB、4サイクル車は94dBを限度とする。

2dB オーバーは警告(2回連続で失格)、3dB オーバーは失格とする。

2005年以前モデルの2サイクル車は2007年を限度として98dBも認めだが、**2008年より、総ての2サイクル車は96dB 限度となる。**

【19】ライダーズミーティング

参加者は、必ずライダーズミーティングに出席しなければならない。

タイムスケジュールに示された時間以外にもライダーズミーティングを行う場合がある。

【20】ライダー・ピットクルーの遵守事項

参加者、ライダー、およびピットクルーは大会期間中を通じて次の事項を守らねばならない。

- 1) MFJ国内競技規則・本特別規則ならびに競技運営上の規定(公式通知等)及び競技役員の指示に従うものとする。
- 2) モトクロス場付近では、車の走行に充分注意し付近住民等に迷惑を与えるような行為は絶対に行ってはならない。

【21】損傷の責任

- 1) 競技開催期間中に起こった損傷は自らが責任を負うものとする。
- 2) 競技役員等主催者側はいかなる場合も一切の損害賠償責任を負うことはない。
- 3) 競技に関連して起こった事故により負傷した場合、MFJ傷害基金見舞金が請求できるので必ず主催者に申し出て、救護員の手当てを受ける事。
主催者に申し出なかった場合、MFJ傷害基金見舞金の請求はできない。

【22】本規則の解釈及び施行

本規則および競技に関する疑義は、大会事務局あて質疑の申し立てが出来る。但し、申し立てが出来るのはライダー及びピットクルーのみとする。尚この回答は大会審査委員会の決定を最終的なものとする。

本規則は2008年の全道モトクロス選手権シリーズ開始時点より有効とする。

なお、本規則に示されていない事項は、MFJ国内競技規則による。

本規則はMFJ北海道支部ホームページ(<http://www.mfj-hokkaido.com/>)にて公開する。

以上